

助界
フラッシュ

潜入!ザ・タイガース札幌ライブ

絶唱ジュリー

「君だけ～に～!」とヒット曲
「君だけに愛を」でおなじみの
ポーズを決めるジュリーに、会
場内は興奮の渦

写真★本誌・亀岡一雄

今回はボーカル兼
「宴会部長」の沢田
幹事「です」という
「ジュリー」こと沢
田研二さん（65歳）

リードギター兼ボーカルを務
める「トッポ」こと加橋かつ
みさん（65歳）



前半は黒の衣装で登場
の5人。途中、ドラム
の瞳さんが上着を脱ぎ、
踊りながら歌唱する
。サブライズも





ギター担当の「タロー」こと森本太郎さん(67歳・右)とベースの「サリ一」こと岸部一徳さん(67歳)



1971年の解散後は慶應義塾高校の教員を務めていた「ピー」こと瞳みのるさん(67歳)

「ついにこの日がやってきました！この5人で『ザ・タイガース』です！」
 2013年12月22日におこなわれた「ザ・タイガース」札幌ライブの冒頭、沢田研二さんは感無量の面持ちで、復活を宣言した。
 ザ・タイガースは1967年にデビュー。「グループサウンズ」ブームを牽引する超人気バンドとして活動していたが、解散する2年前の69年に加橋かつみさんが脱退。以後、オリジナルメンバー5人すべてが集うことはなく、44年ぶりの再結成となっていた。
 ライブは13年12月3日の日本武道館公演を皮切りに、全国7都市で8公演を実施。チケットはいずれも発売と同時に、瞬殺で完売した。札幌会場のニトリ文化ホールにも、貴重なチケットを手に入れた約2300人が集結。9割以上は当時からのファンと思われる、メン

—セットリスト—

- 01 DO YOU LOVE ME
- 02 (I CAN'T GET NO) SATISFACTION
- 03 NOWHERE MAN
- 04 I STARTED A JOKE
- 05 YOU'VE GOT TO HIDE YOUR LOVE AWAY (悲しみはぶっとばせ)
- 06 YELLOW RIVER
- 07 TELL ME
- 08 HOLIDAY
- 09 I'M HENRY THE EIGHTH, I AM (ヘンリー 8世君)
- 10 TIME IS ON MY SIDE
- 11 UNDER MY THUMB

—休憩—

- 12 十年ロマンス
- 13 僕のマリー
- 14 落葉の物語
- 15 生命のカンタータ
- 16 忘れかけた子守唄
- 17 魔虚の鳩
- 18 モナリザの微笑
- 19 銀河のロマンス
- 20 青い鳥
- 21 花の首飾り
- 22 君だけに愛を
- 23 シーサイド・パウンド
- 24 I UNDERSTAND (JUST HOW YOU FEEL)

—アンコール—

- 01 タイガースのテーマ
- 02 美しき愛の掬
- 03 色つきの女でいてくれよ



歌い終わった後、思わず膝をついてガックリの沢田さん。いったい何が起きたのかというところ……



人気曲「青い鳥」の歌詞を間違ってしまったから。やんやの大歓声に、沢田さんは「土下座。で平謝り

「ありがとう」と3回繰り返した沢田さん。「これが最後かも」と臨んだ完全燃焼の2時間に、会場から惜しめない拍手と声援が送られていた。

（清水）

終演後、万感胸に迫り「ありがとう」と3回繰り返した沢田さん。「これが最後かも」と臨んだ完全燃焼の2時間に、会場から惜しめない拍手と声援が送られていた。

（清水）

「ジュリッ！」「トッポッ！」と黄色い声援が飛び交う中「光を与えてくれてありがとう」と、沢田さんが歓声に応じてステージはスタート。2部構成の前半は海外カバー曲が中心。休憩を挟んだ後半はヒットソングを次々と演奏した。デビュー曲の「僕のマリー」や大ヒット曲「花の首飾り」など全28曲を歌い切った。

午後4時の開演とともに会場の照明が落とされ、メンバーが登場するやいなや、客席は総立ち。こうした年配客の集まるライブでは異例のことだ。

「ジュリッ！」「トッポッ！」と黄色い声援が飛び交う中「光を与えてくれてありがとう」と、沢田さんが歓声に応じてステージはスタート。2部構成の前半は海外カバー曲が中心。休憩を挟んだ後半はヒットソングを次々と演奏した。デビュー曲の「僕のマリー」や大ヒット曲「花の首飾り」など全28曲を歌い切った。



いったんステージから退場後、なおも帰ろうとしない観客に応えて再度登場。'カーテンコール。で感謝の意を伝えた

教員時代は中国文学の研究と中国語教育に力を注ぎ、日中友好にも尽力する瞳さん



自身のソロ公演にゲストでメンバーを招くなど、再結成への道筋をつけた沢田さん



沢田さんとともに絶大な人気を誇っていた加橋さん。持ち味のハイトーンボイスは健在

アンコール曲「タイガースのテーマ」ではコミカルなダンスで演奏、喝采を浴びていた

